

Investor Presentation

2027年3月期 第1四半期 スモールミーティング資料

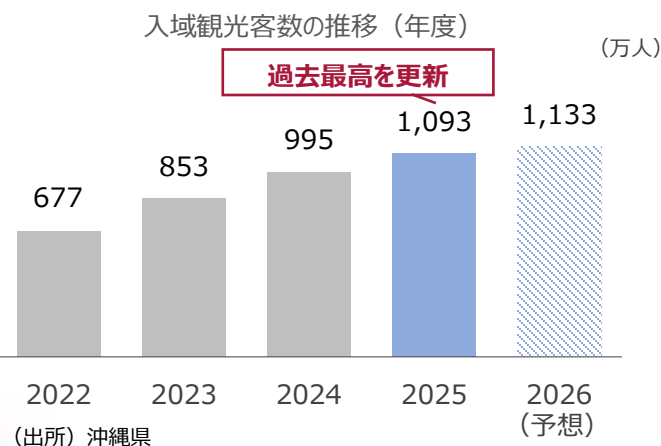
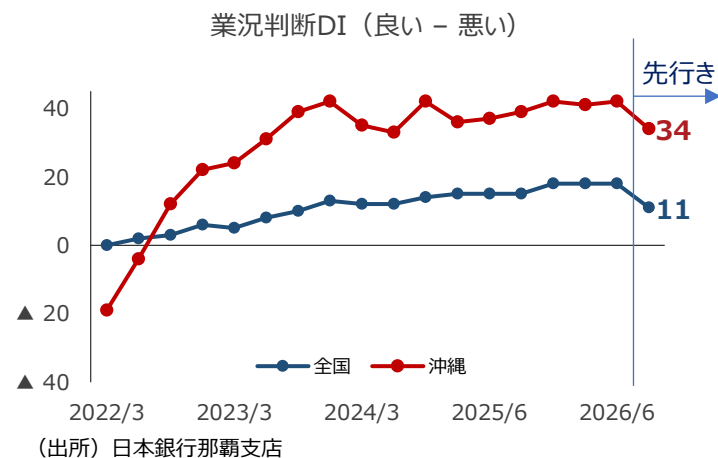


第34回（2025年度）りゅうぎん紅型デザインコンテスト 一般枠 奨励賞「島の鳥物語」／相田 あゆみ

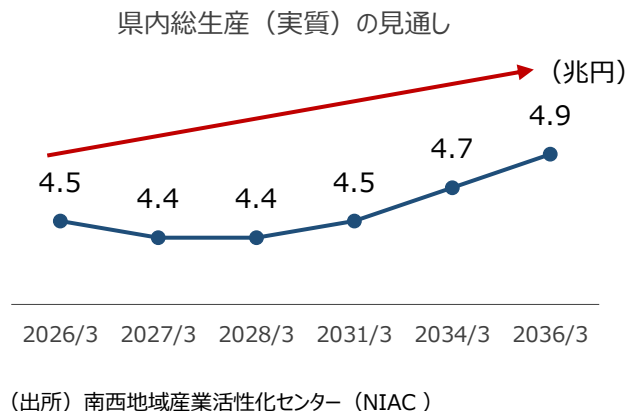
沖縄県のポテンシャル

沖縄経済の拡大基調を背景に、今後も成長余地がある沖縄県において、県内トップシェアを有する当行は、今後さらに地域経済成長の発展を後押しすることに努めていく。

好調な沖縄経済



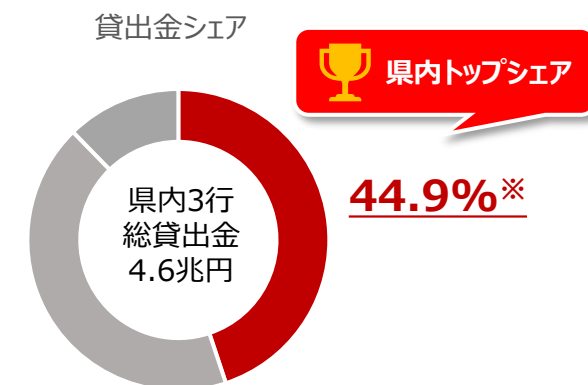
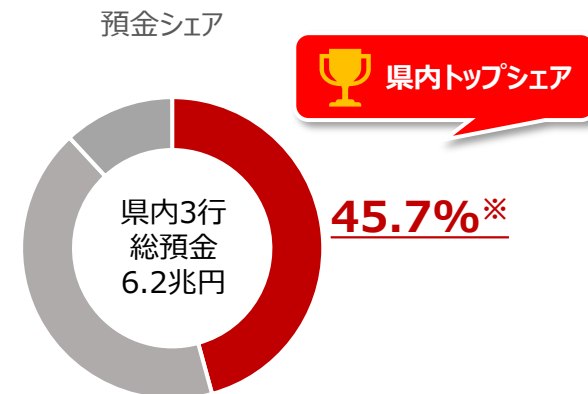
金融需要の拡大余地とGW2050 PROJECTS



GW2050 PROJECTSの掲げる拡大目標（2024→2050）

- 名目県内総生産
4.9兆円→11兆円
- 総人口
147万人→167万人
- 就業者数
77万人→93万人
- 1人当たり県民所得
254万円→552万円

当行の強みとポジショニング



※沖縄県内に本店のある地方銀行3行シェア（平残ベース）

決算のポイント

第1四半期は資金利益主導で順調なスタート。営業基盤拡大により預貸金県内トップシェアを維持。



第1四半期業績

連結四半期純利益※1

29.8億円
(前年同期比 +4.1億円)

経常利益 **43.6億円**
(前年同期比 +8.7億円)

資金利益 **93.2億円**
(前年同期比 +13.8億円)

**資金利益の伸長と営業基盤
拡大で良好なスタート**



預貸金・顧客基盤

預金平残※2

前年同期比 **+3.1%** 増加

貸出金平残

前年同期比 **+5.0%** 増加

県内3行シェア※3伸長

預金 **45.7%** (+0.4pt)

貸出金 **44.9%** (+0.2pt)

預貸金県内トップシェアを維持



計画進捗

・連結四半期純利益

2027年3月期通期予想
100億円に対し
進捗率 **29.8%**

・連結経常利益

2027年3月期通期予想
149億円に対し
進捗率 **29.3%**

※1 連結四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益

※2 預金には譲渡性預金を含む。

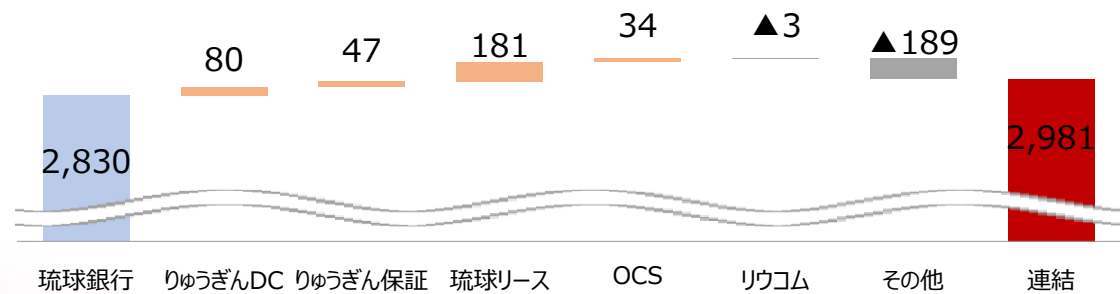
※3 沖縄県内に本店のある地方銀行3行シェア（平残ベース）

損益状況

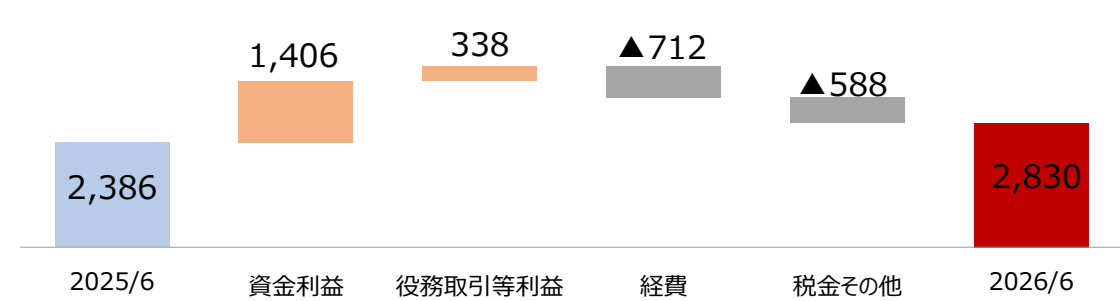
貸出金利回りの上昇や有価証券利息配当金の増加により資金利益が拡大し、経費増加を吸収して増収増益となった。
金利上昇効果を取り込みながら、本業収益の積み上げを進める。

連結 (百万円、%)				単体 (百万円、%)			
項目	27/3期 1Q	前年同期比	通期予想/進捗	項目	27/3期 1Q	前年同期比	通期予想/進捗
経常収益	22,697	+3,228	-	経常収益	16,176	+2,718	-
資金利益	9,322	+1,383	-	資金利益	9,548	+1,406	-
役務取引等利益	2,095	+342	-	役務取引等利益	1,533	+338	-
経費(除く臨時損益)	8,168	+697	-	経費(除く臨時処理分)	7,473	+712	-
経常利益	4,365	+870	14,900 / 29.3%	経常利益	4,037	+915	13,900 / 29.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,981	+410	10,000 / 29.8%	四半期純利益	2,830	+444	9,500 / 29.8%
自己資本比率	10.24	+0.23 (2026年3月末比)	-	自己資本比率	9.82	+0.24 (2026年3月末比)	-

四半期純利益 (百万円)



四半期純利益の前期比増減要因 (単体、百万円)



預貸金収益の拡大状況

預貸金収支の着実な改善に、有価証券運用収益の増加が加わり、預金調達コストの上昇を吸収。預貸金利回差は1.51ptへ拡大。

単体資金利益

9,549百万円

前年同期比 +1,406百万円 (+17.2%)

預貸金収支

7,279百万円

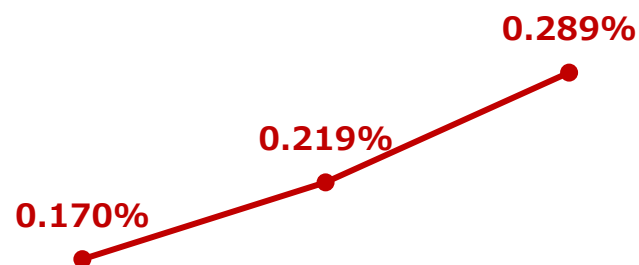
前年同期比 +471百万円 (+6.9%)

預貸金利回り差

1.51pt

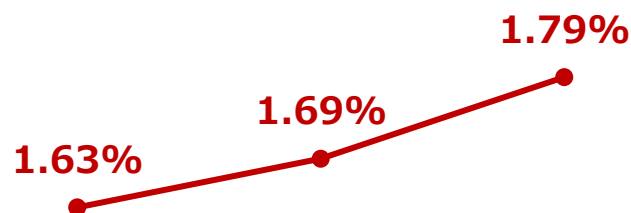
貸出金利回り - 預金利回り

預金利回り



2025年度上期 2025年度下期 2026年度第1四半期

貸出金利回り



2025年度上期 2025年度下期 2026年度第1四半期

利回り差（貸出金 - 預金）

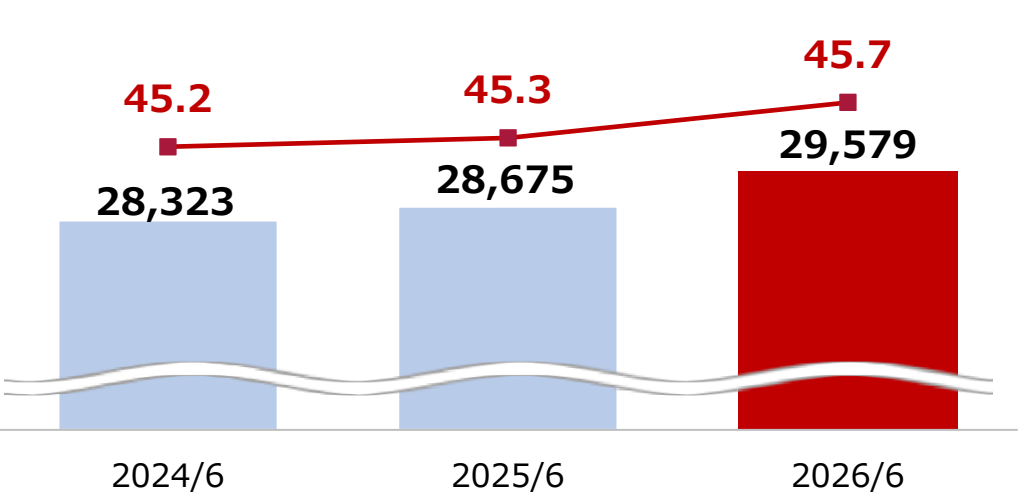


2025年度上期 2025年度下期 2026年度第1四半期

預金の状況

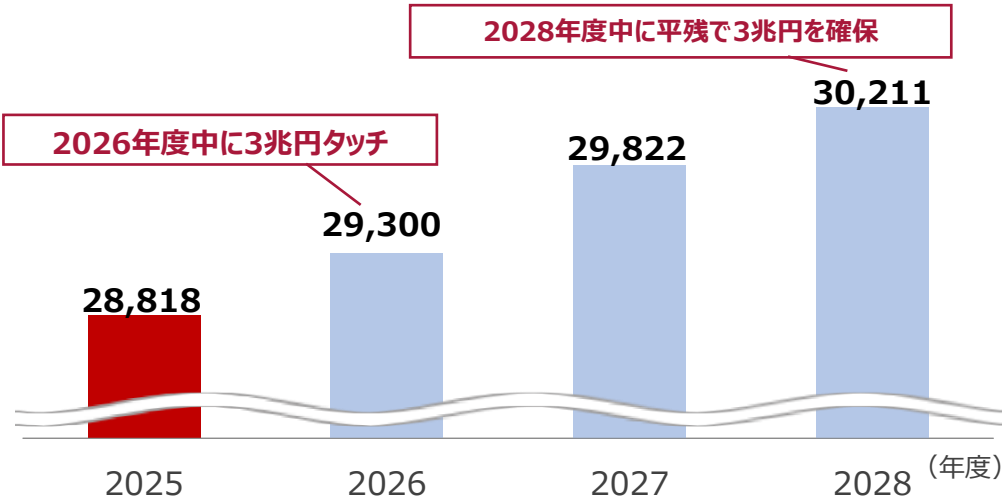
個人・法人預金ともに堅調に推移。預金残高を積み上げ、県内トップシェアを維持・拡大。安定した預金基盤を背景に、営業基盤の更なる強化を進める。

預金残高と3行シェア推移（平残、億円・%）



※シェアは沖縄県内に本店のある地方銀行3行シェア

預金残高（平残）の見通し



預金残高の内訳（2026/6 末残、億円）

項目	2026/6末	前年同期比	増減率
個人預金	18,082	+430	+2.4%
法人預金	9,214	+316	+3.5%
地方公共団体等 その他	2,280	▲292	▲11.3%
預金 計	29,577	+454	+1.5%

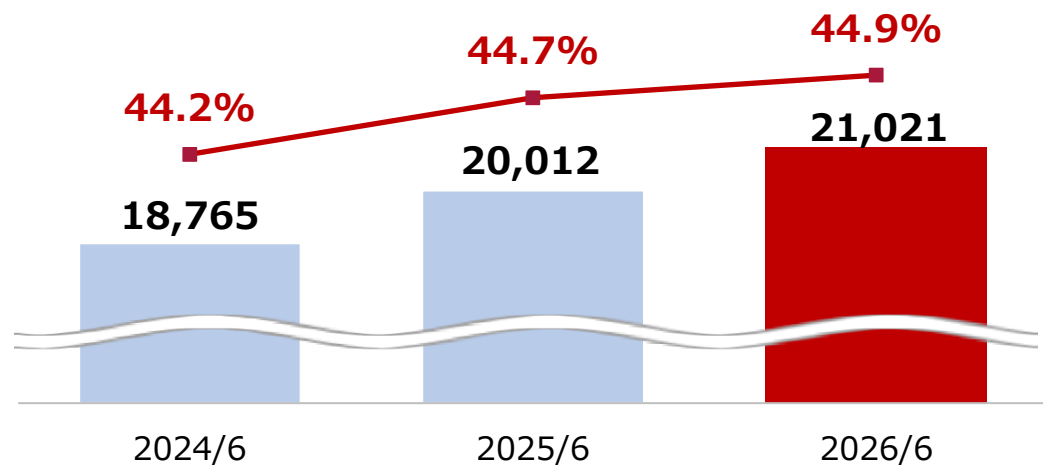
預金獲得への取り組み

- 給与振込、決済口座、新規口座の獲得を通じ、安定した預金基盤を拡大
- 法人取引を起点に、従業員やオーナー層を含めた法個一体営業を強化
- 相続・資産承継コンサルティングと連携し、預金流出の抑制と新規資金の獲得を図る
- デジタルチャネルを活用し、メイン口座化と個人預金の増強を進める

貸出金の状況

住宅ローンや法人向け貸出が増加し、預金と同じく貸出金についても残高の増加と県内トップシェアを維持・拡大。県内外の資金需要を着実に取り込み、資金利益の拡大につなげる。

貸出金残高と3行シェア推移（平残、億円・%）

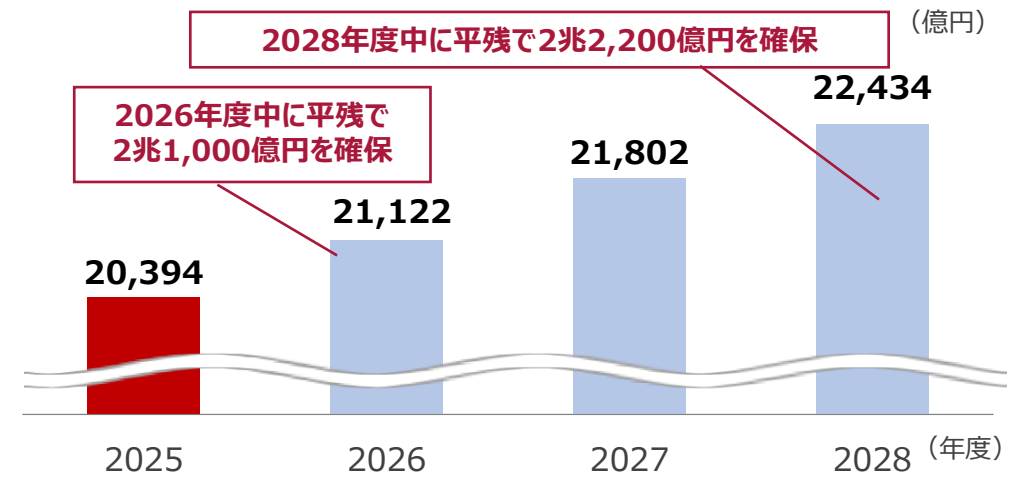


※シェアは沖縄県内に本店のある地方銀行3行シェア

貸出金残高の内訳（末残、億円）

区分	2026/6末	前年同期比	増減率
個人	10,120	+210	+2.1%
うち住宅ローン	6,135	+201	+3.4%
法人	9,700	+798	+8.9%
地方公共団体等 その他	1,296	+12	+0.9%
貸出金 計	21,117	+1,020	+5.0%

貸出金残高（平残）の見通し



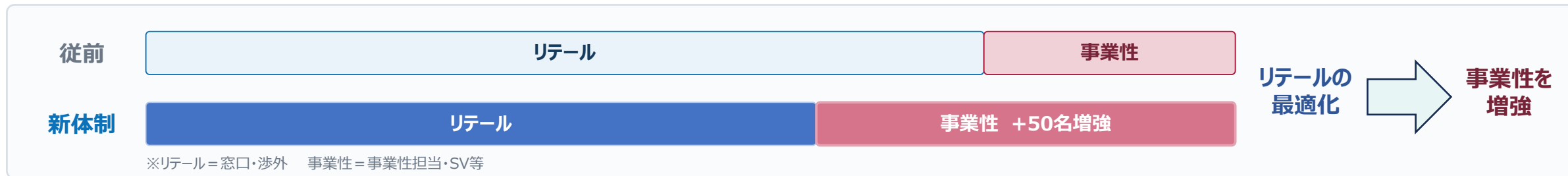
融資量増強への取り組み

- 法人メイン化とコンサルティング営業を通じ、新たな資金需要を取り込む
- 観光、再開発、脱炭素、スタートアップなど、地域の成長分野に積極的に資金を供給する
- 県内で蓄積したノウハウを活かし、県外ストラクチャードファイナンスへの展開を進める
- Web申込、電子契約、データ・AI活用により、融資手続きの利便性と生産性を高める

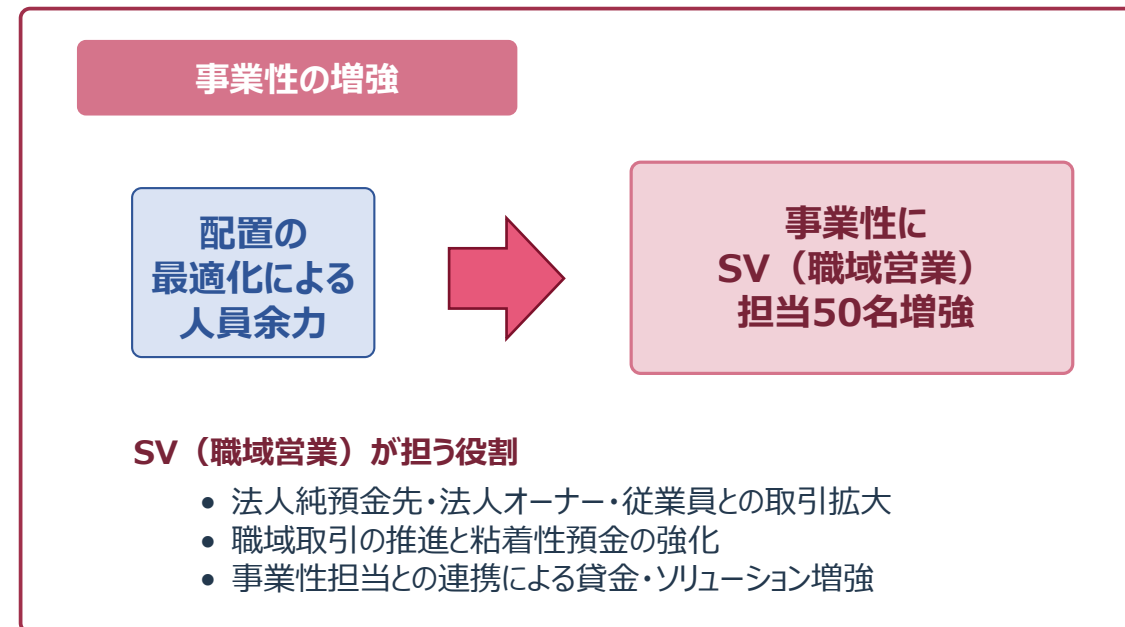
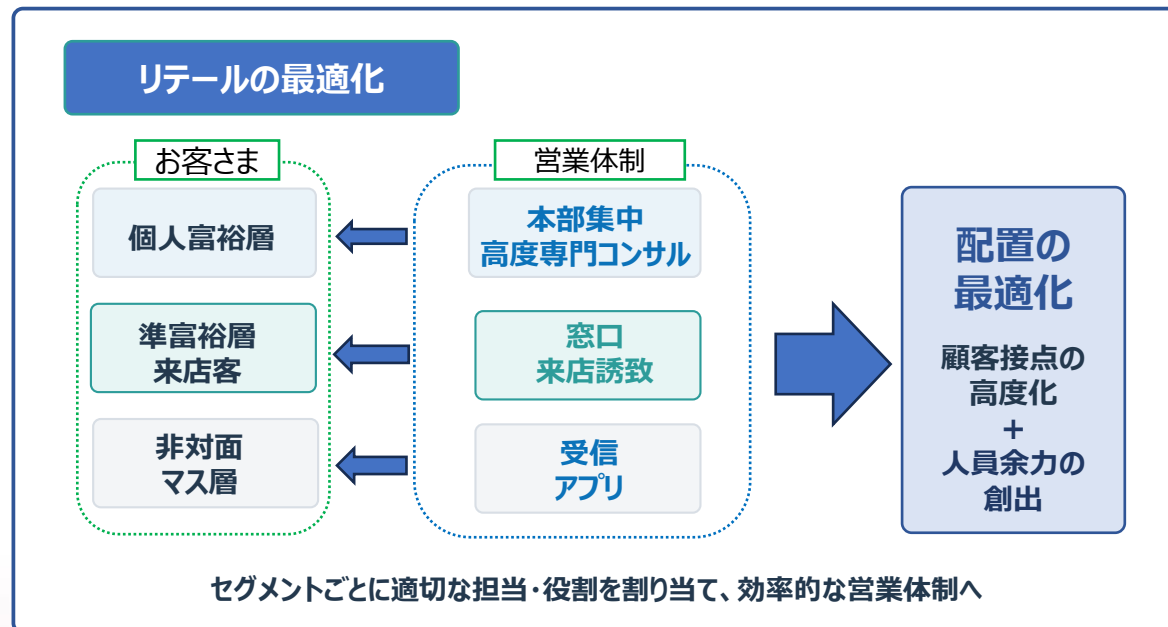
営業体制の変革

リテール人員を顧客セグメント別に最適配置し、生み出した人員余力を事業性へ再配置。

新体制 人員配置イメージ



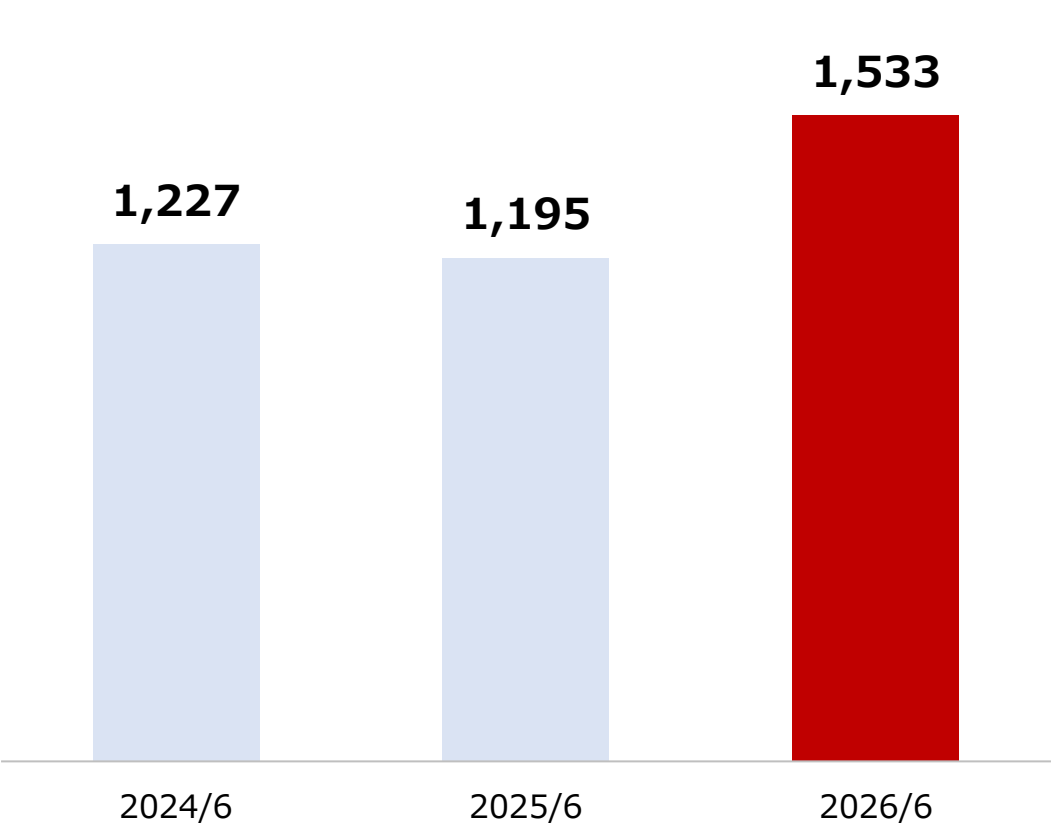
役割と期待効果



役務収益

コンサルティング業務やキャッシュレス関連収益が伸長し、非金利収益は増加。ソリューション提供力の強化を通じて、収益源の多様化を進める。

役務取引等利益の推移（単体、百万円）



項目（百万円）	2026/6末	前年同期比	増減率
役務取引等利益	1,533	+338	+ 28.2%
うちキャッシュレス事業	253	+7	+2.8%
うちコンサルティング業務	328	+235	+ 252.6%

法人コンサル支援件数（件）

項目	2025/3	2026/3	2026/6 （3カ月）
M&A	310	725	149
事業承継	238	368	99
ビジネスマッチング等	579	679	166

コンサルティング戦略（法人・個人）

法人・個人の専門性を両輪に、地域課題の解決と顧客LTVの最大化を通じて収益基盤を拡大。

法人コンサルティング

成長機会

後継者不在率 61.0%（全国6位）
入域観光客数 1,093万人（2025年度・過去最高更新）

当行の強み

- M&A・事業承継を内製化し、経験・ノウハウを蓄積
- 大型案件・成長分野への積極的リスクテイク
- 観光関連ファイナンスの実績と県内外の豊富なネットワーク
- 高度専門人材の育成

個人コンサルティング

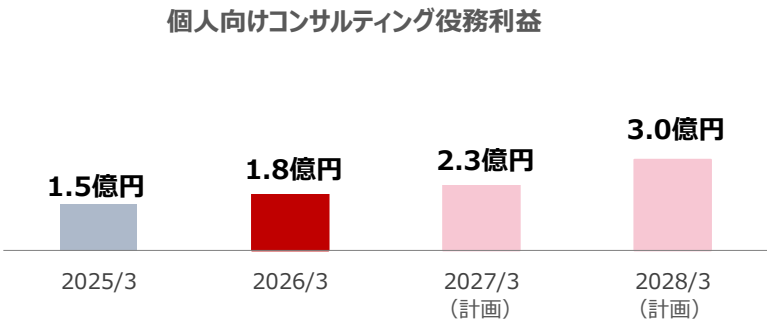
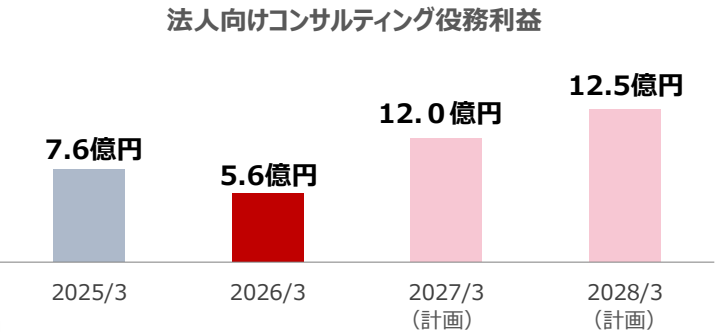
成長機会

相続税課税価格 2,222億円（2024年・沖縄県）
課税対象被相続人数 1,269人（2024年・沖縄県）

当行の強み

- 県内高齢者の約7割の顧客情報を保有
- 相続コンサルティング累計3,000件超の豊富な経験とノウハウ
- 外部専門家との連携によるワンストップ対応

法人：地域企業の成長・承継を支援 × 個人：相続を起点に預金・運用・貸出・次世代取引へ展開



キャッシュレス戦略

キャッシュレスアイランドの実現により県民・観光入域客の利便性を高め、決済プラットフォームの提供で商圈を拡大。

キャッシュレス分野

成長機会

県内キャッシュレス比率 36.9%（全国13位）
2030年度政府目標 65.0%（全国）

当行の強み

- プリンシパルライセンスを強みとした連携拡大
- 多様なPOSベンダー・決済事業者との協業で営業基盤を拡大
- 県外含む加盟店・事業者への決済事業サポート
- 県内公共交通機関への決済システム導入拡大

キャッシュレス×DX分野

成長機会

沖縄県観光収入 2032年度目標 1兆2,000億円
医療・観光・宿泊・飲食のDX需要が拡大

当行の強み

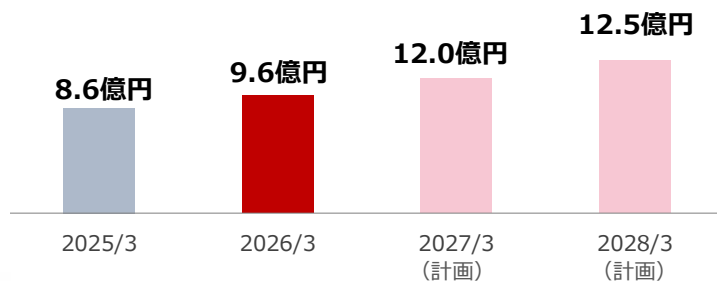
- 医療：自動精算機による業務効率化
- 観光：チケット購入のキャッシュレス化
- 宿泊：OTA※1連携決済による顧客対応の効率化
- 飲食・小売：KIOSK※2活用によるDX化

※1：「Online Travel Agent（オンライン旅行代理店）」の略

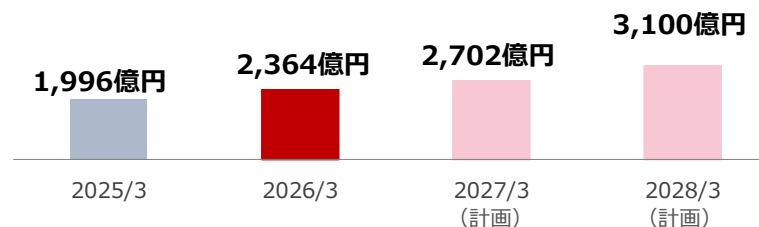
※2：タッチパネル等を備えた自立式の小型情報端末の総称

キャッシュレス：決済基盤の拡大で商圈を拡大 × DX：業種別ソリューションで県経済の成長に寄与

カード関連収益



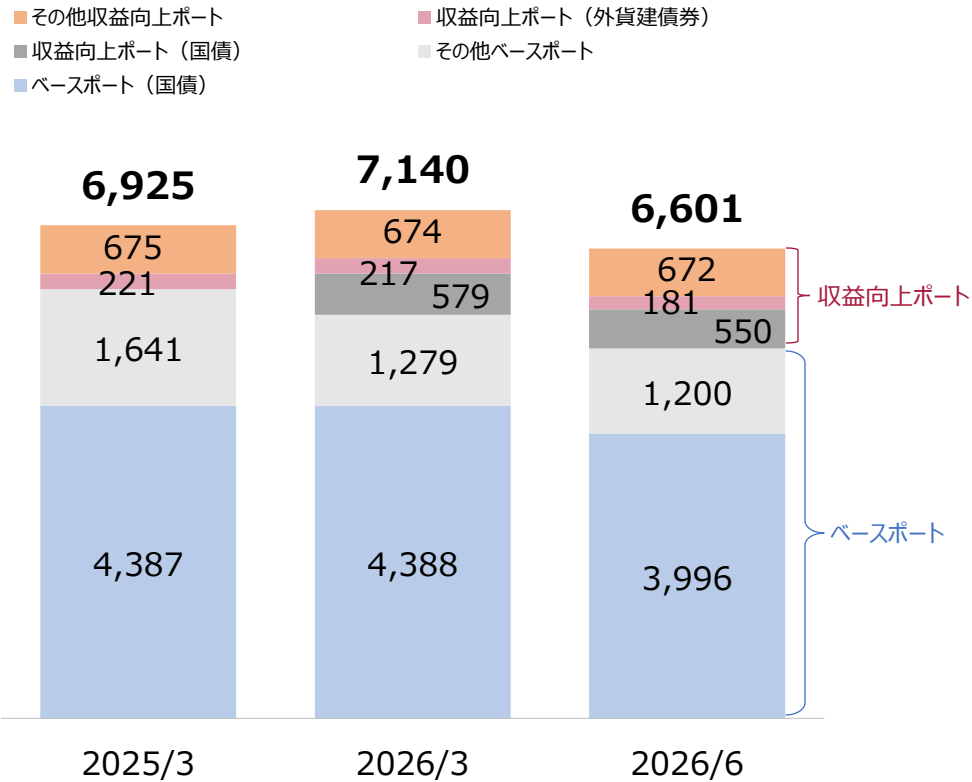
グループ全体キャッシュレス取扱高



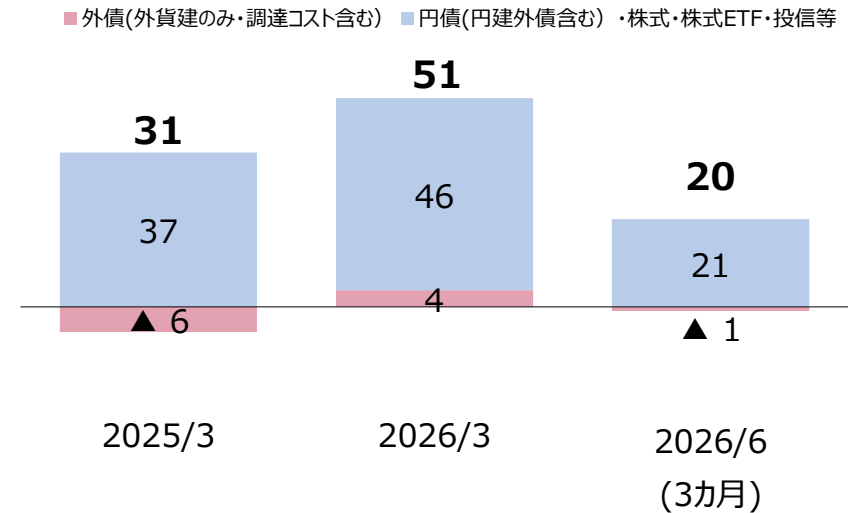
有価証券の状況（単体）

国債、地方債等の償還分を短期資金にシフトし有価証券残高は減少。
有価証券運用損益は、金利上昇に伴う円債の利息増加、株式ETFの売却等で順調に積上げ。

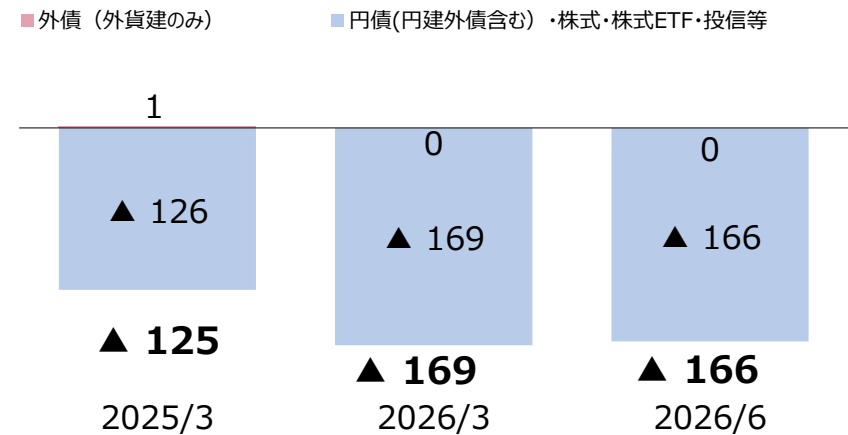
有価証券残高（億円）



有価証券運用損益（億円）



有価証券評価損益（億円）

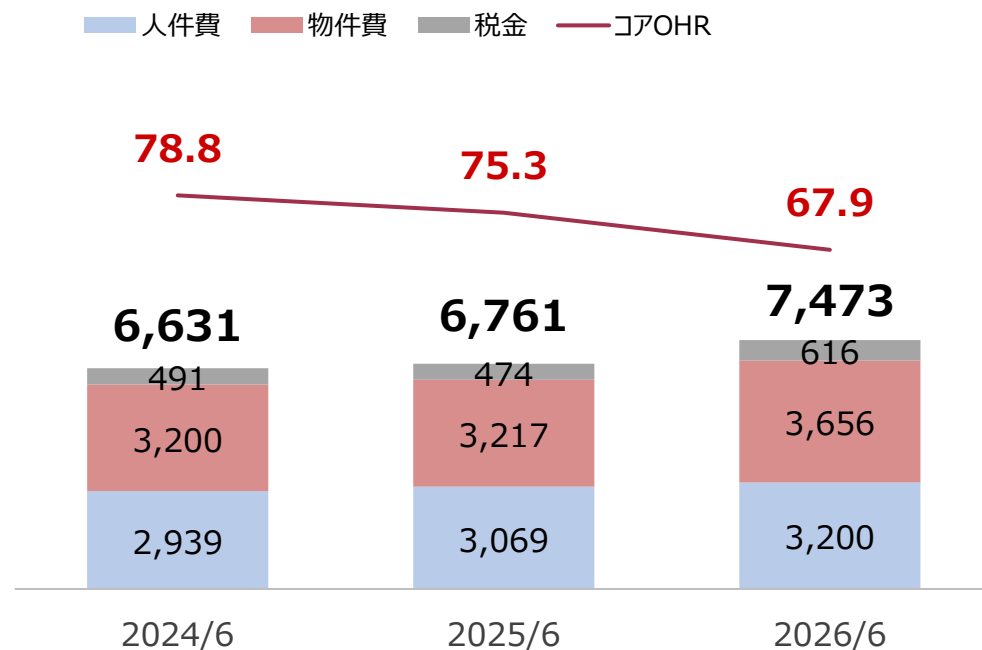


円貨債券 デュレーション(年)	2.70	3.02	3.05
ベースポート デュレーション(年)	—	2.41	2.46

経費の状況と経費コントロール

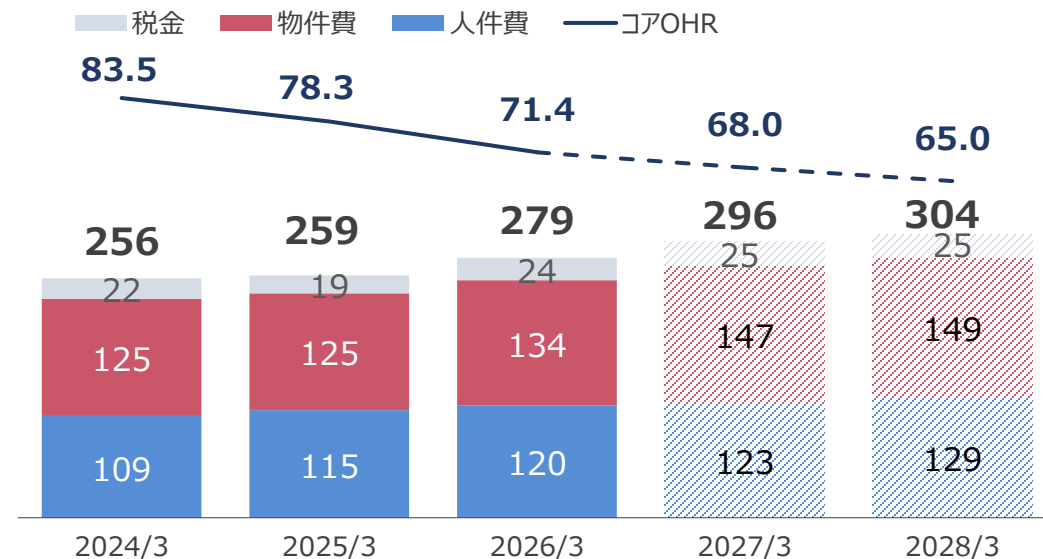
新本店関連等の物件費・税金の影響で経費は増加。人的資本およびシステム関連（戦略案件）への投資を継続し、収益力と企業価値の向上につなげる。

経費内訳およびコアOHRの推移（単体、百万円・%）



- 2026年度第1四半期 本店関連費用：約302百万円（減価償却費、税金等）
- コアOHRは本業収益の伸長により分母が増え、改善が図られているが、経費率の高さは課題と認識

経費支出およびコアOHRの見通し（単体、百万円・%）



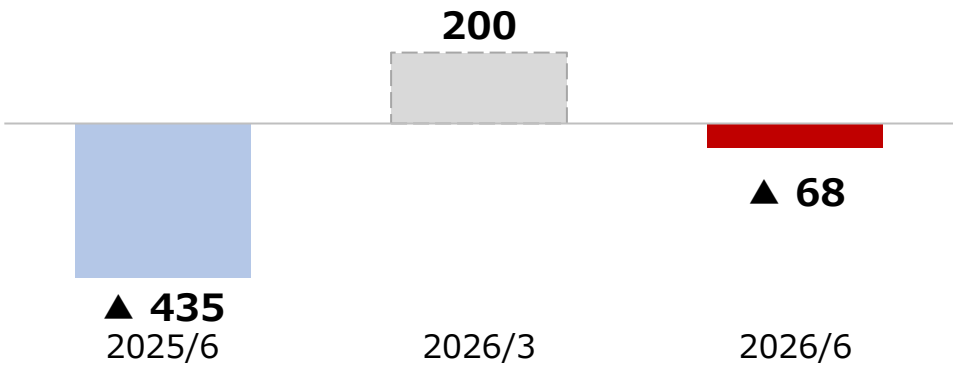
- 新本店の稼働に伴う減価償却費、維持管理費、税金等の増加や人的資本、デジタル分野への戦略投資継続により、通期でも前期比増加見込み
- 将来成長に向けた人的資本やデジタル分野への投資を継続しつつ、生産性向上や経費構造改革を進める

与信費用・開示債権

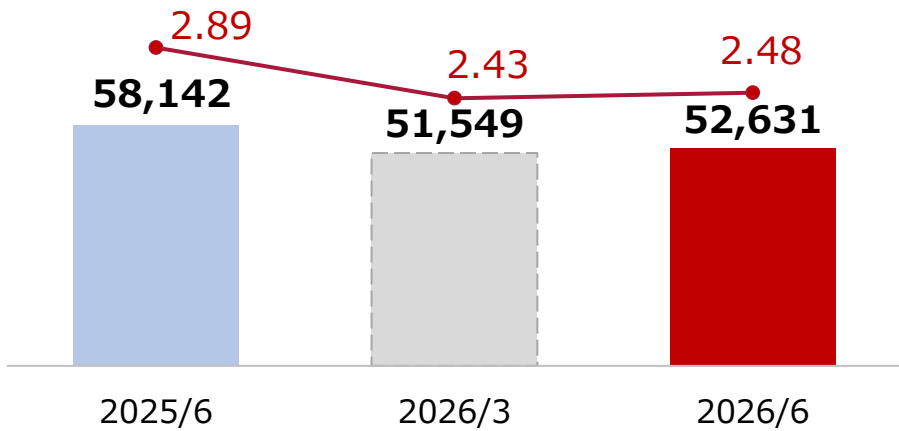
与信コストは低水準を維持し、貸出金残高拡大のなかでも開示債権比率は安定的に推移した。地域経済の動向を注視しながら、リスク管理と地域への資金供給の両立を図る。

項目（百万円）	2026/6末	前年同期比
ネット与信費用	▲68	+367
不良債権処理額	▲6	▲14
貸倒引当金戻入益	16	▲406
うち一般貸倒引当金	46	▲28
うち個別貸倒引当金	▲29	▲376
償却債権取立益	44	+22

与信コスト関連の推移（単体、百万円）



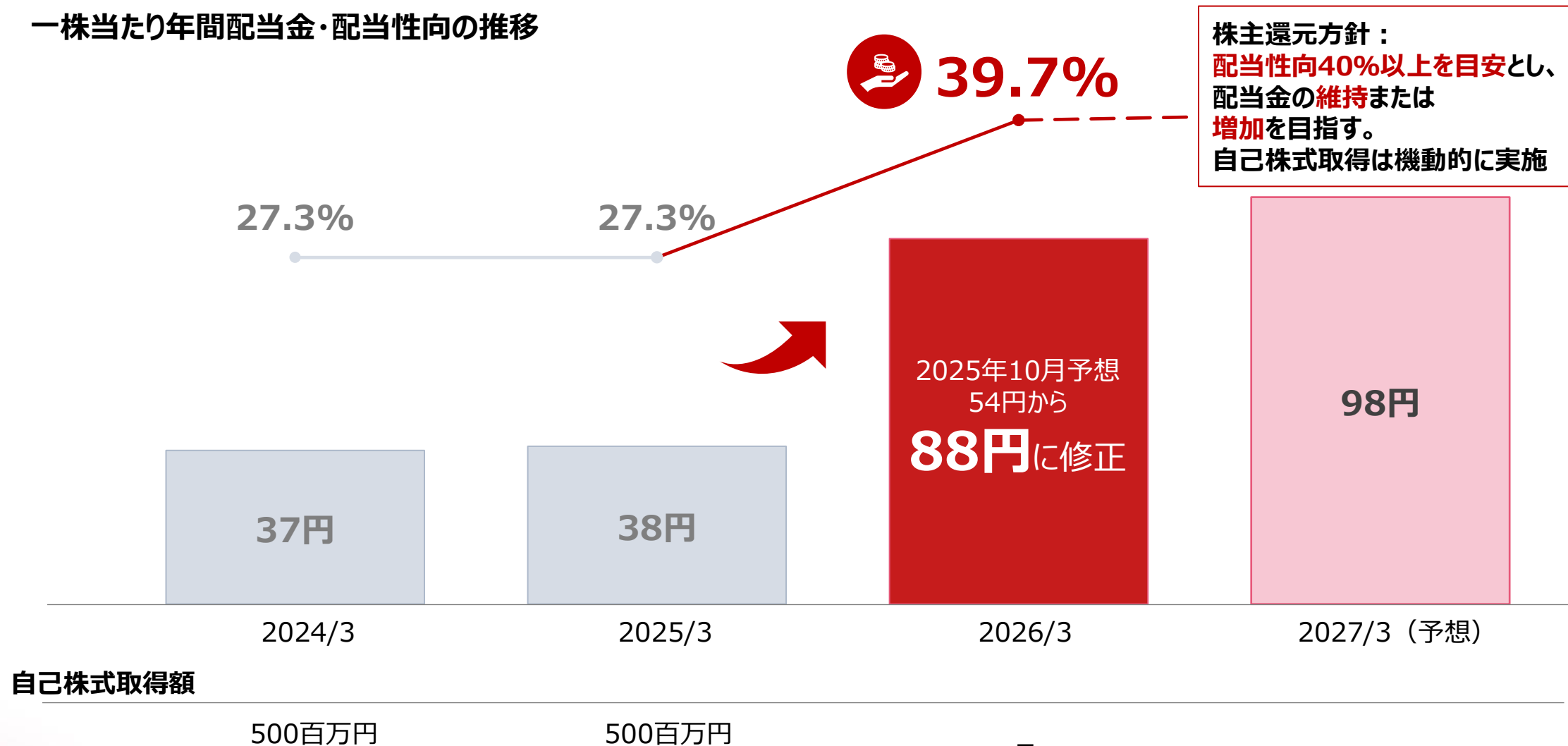
開示債権額および開示債権比率（百万円・%）



株主還元状況

収益力の向上を背景に資本の充実を進めながら、増配を決定するとともに株主還元方針を見直し。

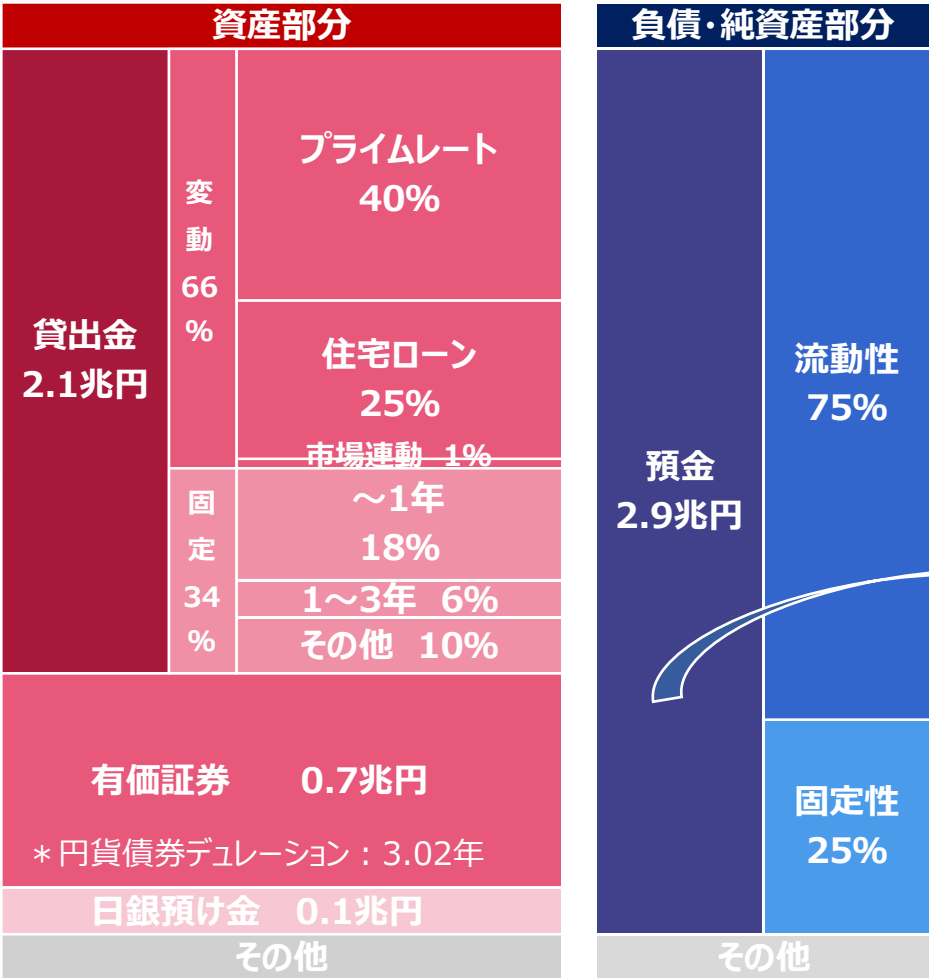
一株当たり年間配当金・配当性向の推移



金利上昇による業績への影響

変動金利貸出金割合は約66%。固定金利貸出も1年以内に満期を迎える貸出金が半数超。

■ 円金利バランスシート



■ 政策金利上昇時の影響について

- 政策金利が0.25%上昇した場合の影響試算
資金利益増加額 年間約**10**億円程度

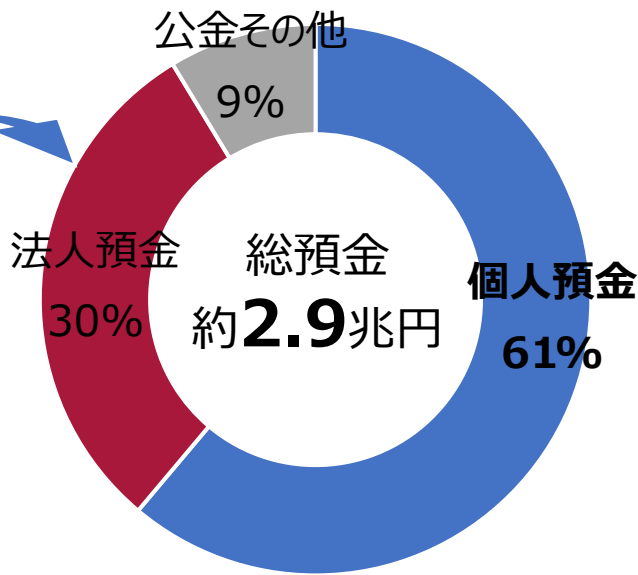
【前提条件】

政策金利：+0.25%上昇、金利更改後で試算

貸出金：プライムレート連動 追従率80%

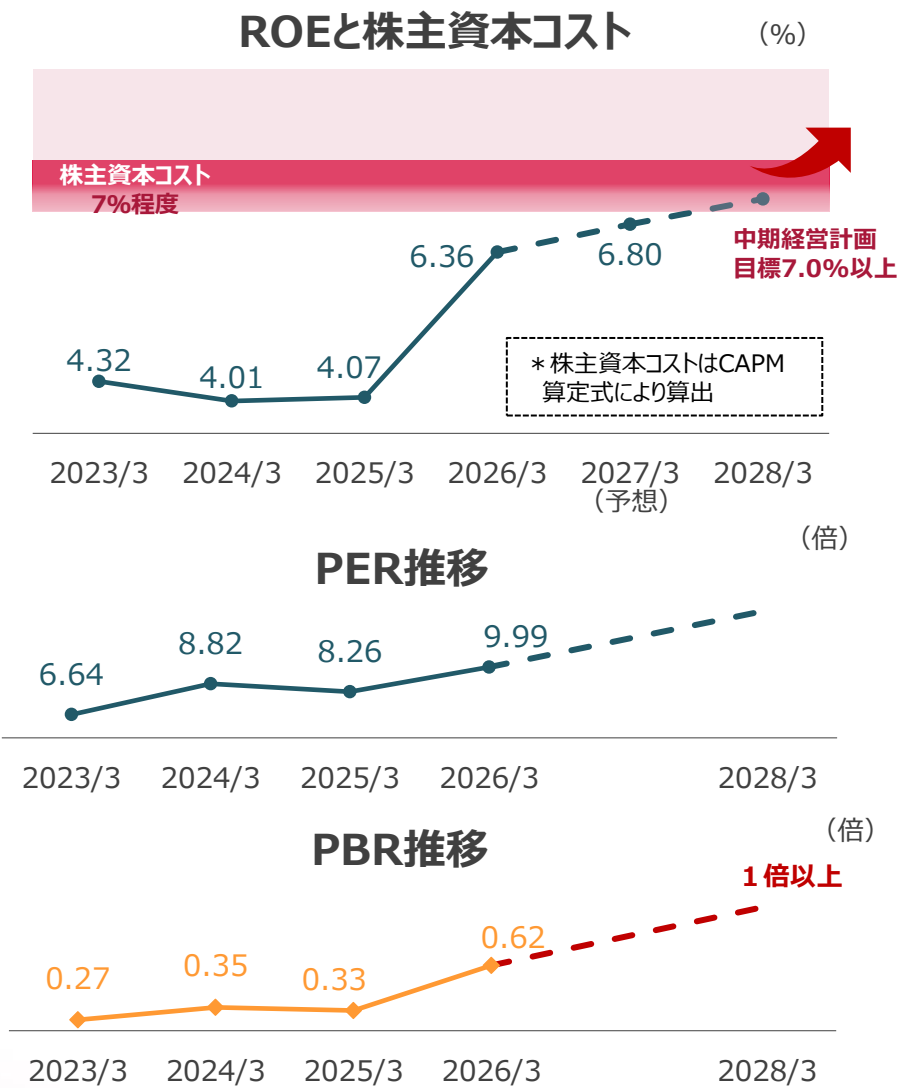
住宅ローン、市場金利連動：追従率100%

預金：追従率40%



個人預金**残高**は
前期末比**+1.9%**増加
総預金に占める割合は
61%で粘着性の高さを
維持

現状認識および将来イメージ



PBR向上	ROE向上	RORA改善	収益力強化	資金利益（預金・融資・有価証券）向上施策の強化
				リスク・アセットベースでの収益性向上
		コストコントロール		役務ビジネスの展開（キャッシュレス事業・法人向けコンサルティング・個人向けコンサルティング）
				事務効率化、他行連携等による経費圧縮
	PER向上	自己資本比率水準のコントロール	リスク・アセットコントロール	経営改善支援を通じた予期せぬ与信コスト発生抑制
			資本の有効活用	リスク・ウェイト低減策の実施
		企業ブランド力の強化		キャピタルマネジメント
				適宜適切な自己株式の取得や配当水準の継続検討
		社会価値の向上	サステナビリティ経営の実践	地域の脱炭素化支援、ESG評価の向上
			グループブランド戦略	カード・IT・リース事業などのグループ会社一体となった総合力の向上
			地域経済の活性化	地域の雇用と事業資産を守り、地域経済を活性化

戦略的人材ポートフォリオの構築

ROEロジックツリーとの関係性

ROE向上に紐づく主要KPIの達成状況。収益力強化はおおむね計画通りの進捗。経費は課題として管理する。

単位：億円

		区分	主要KPI	2026計画	2026 1 Q実績	達成・進捗率	主な施策
ROE向上	RORA改善	収益力強化	県内事業性融資平残	9,708	9,569	98.5%	融資量増強／事業性営業の支援活動／法個一体営業の実現／事業性営業担当の育成プログラムの実施
			シ・ローン平残	2,270	2,214	97.5%	県外向けストラクチャードファイナンスへの参加
			住宅ローン平残	6,120	6,038	98.6%	融資量増強／融資業務プロセスの最適化
			消費者ローン平残	740	764	103.2%	非対面戦略の進化／法個一体営業の実現／融資業務のDX化加速および効率化
			個人預金平残	17,986	17,913	99.59%	預金強化・基盤強化／法個一体営業の実現／外貨預金の推進／受信業務支援態勢の強化
			法人預金平残	9,020	9,198	101.97%	預金強化・基盤強化／法個一体営業の実現／受信業務支援態勢の強化
			公金預金平残	2,199	2,368	107.68%	預金強化・基盤強化
		コストコントロール	経費	296	74	25.0%	物件費の適正化／環境に配慮した業務の運営／システム関連経費の可視化および管理の高度化
		RWAコントロール	与信関係費用	11	▲0	－	経営改善計画の策定および履行支援／再チャレンジ（廃業）支援の判断と施策策定／開示債権管理態勢の強化および債権保全初動対応の態勢整備
	リスクアセット		－	－	－	FIRB移行に向けた予備計算フェーズへの移行／資本効率の向上に向けたRORAの活用／スプレッド収益管理の浸透・定着	
財務レバレッジ		戦略投資、配当 等					

ESG評価の向上

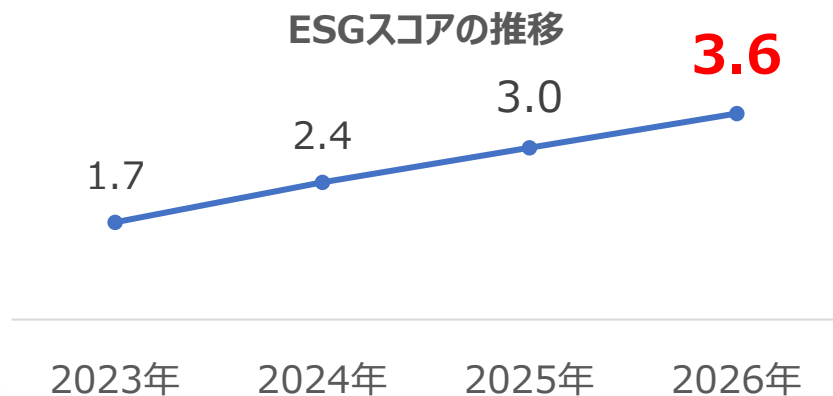
年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用するESG指数の構成銘柄に選定。

FTSE Russell ESG指数2種の構成銘柄に選出

国際的なインデックスプロバイダーであるFTSE Russellにおける2026年の評価において、琉球銀行は地方銀行の中で4位の水準となるESGスコア「3.6」を獲得。年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用するESG指数である「FTSE JPX Blossom Japan Index」および「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定された。

評価された環境・社会課題の解決に向けた取り組み

- ① ZEH・省エネ住宅の普及促進などによる気候変動への対応強化
- ② サステナブルファイナンスの提供
- ③ 自然資本・生物多様性への対応



■ 沖縄県内新聞をはじめとするマスメディアでの記事



2026/8/7 沖縄タイムス



2026/8/7 琉球新報

本資料について

本資料に係るお問い合わせ先

株式会社 琉球銀行 総合企画部

Tel : 098-860-3787
Fax : 098-862-3672
E-mail : ryugin@ryugin.co.jp

本資料は、お断りのない限り単体ベースのデータとなっています。

本資料は、公表データの作成要領に基づき、項目ごとに単位未満切捨てで表示しているため、項目ごとの値と合計とが合わない場合や公表資料と一致しない場合があります。また、資料中の計数は、説明・比較のために独自の定義を用いて算出している場合があり、必ずしも公表数値と一致しない場合があります。

本資料には、当行に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する情報（将来情報）が含まれています。これら将来情報は、あくまで2026年9月10日現在において入手可能な情報に基づいて判断されたものであり、将来の業績等を保証するものではありません。

また、将来情報の記述には一定の前提・仮定を使用しておりますが、かかる前提・仮定は客観的には不正確であったり、将来実現しない可能性があります。その原因となるリスクや不確実性には様々なものが含まれますが、その詳細については当行の決算短信や有価証券報告書等をご参照ください。なお、当行は本資料に含まれる将来情報の更新はいたしません。